

科目番号	1305	領域区分	医療栄養学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1・2	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	臨床栄養学特論 ( Special topic of clinical nutrition )			
担当教員名	谷口 英喜			
授業の概要及び到達目標				
<p>[講義の目標]</p> <p>本講義は、臨床現場において、栄養管理のリーダーとして活躍できる人材の養成を授業の目標とする。そのために、本特論では ①疾病および栄養障害に至った病態を理解できること、②科学的根拠をもとにした、適切な栄養管理を提案できること、③チーム医療において栄養管理の専門性を十分に発揮できる知識を習得できること、を達成目標とする。</p> <p>[講義の概要]</p> <p>本講義では、病態ごとに栄養管理の基本的理論を習得させ、適正な栄養管理法について実践体系を構築し、理論展開を図る。臨床現場における栄養管理を、多角的な視点を持ちながら (multimodal approach)、多職種との連携を活用した栄養介入 (multidisciplinary care) により解決する技術を身につける。</p>				
準備学習等				
<p>臨床栄養学における基本的な用語の整理。 解剖学、生理学、生化学、医学一般、病態などの基礎知識の確認。 テキストおよび参考図書の熟読をしておくことが望ましい。</p>				
成績評価の方法	レポート (60%)、授業への受講態度と出席日数等 (40%) により総合的に評価する。			
テキスト	実践クリニカルニュートリション (日本医療企画)、静脈経腸栄養ガイドライン 第3版 - 日本静脈経腸栄養学会、他レジメおよび文献等を配布する。			
参考図書	実践クリニカルニュートリション、周術期管理マニュアル (日本医療企画)			
備考	受講生の希望により、欧州静脈経腸栄養学会 (ESPEN) 認定の life long learning (LLL) のレベルに準じた講義も組み入れることが可能。			



授 業 計 画

1. 栄養管理に必要なフィジカルアセスメントの習得 (谷口)
2. 栄養アセスメントの習得 (谷口)
3. 栄養管理に必要なバイタルサインと臨床検査の読み方 (谷口)
4. 科学的根拠にもとづいた栄養介入方法の提案①経腸栄養 LLL (谷口)
5. 科学的根拠にもとづいた栄養介入方法の提案②経静脈栄養 LLL (谷口)
6. 栄養管理に必要な薬剤の知識 (谷口)
7. 病態別栄養管理① 消化管術後の栄養管理 (谷口)
8. 病態別栄養管理② 呼吸器系疾患の栄養管理 (谷口)
9. 病態別栄養管理③ がんの栄養管理 LLL (谷口)
10. 病態別栄養管理④ 水・電解質、酸塩基平衡の管理 (谷口)
11. 病態別栄養管理⑤ 婦人科疾患の栄養管理 (谷口)
12. 術後回復能力強化プログラム(ERAS)と栄養管理① LLL (谷口)
13. 術後回復能力強化プログラム(ERAS)と栄養管理② LLL (谷口)
14. 多職種連携による栄養管理 (谷口)
15. まとめ、その他 (谷口)